

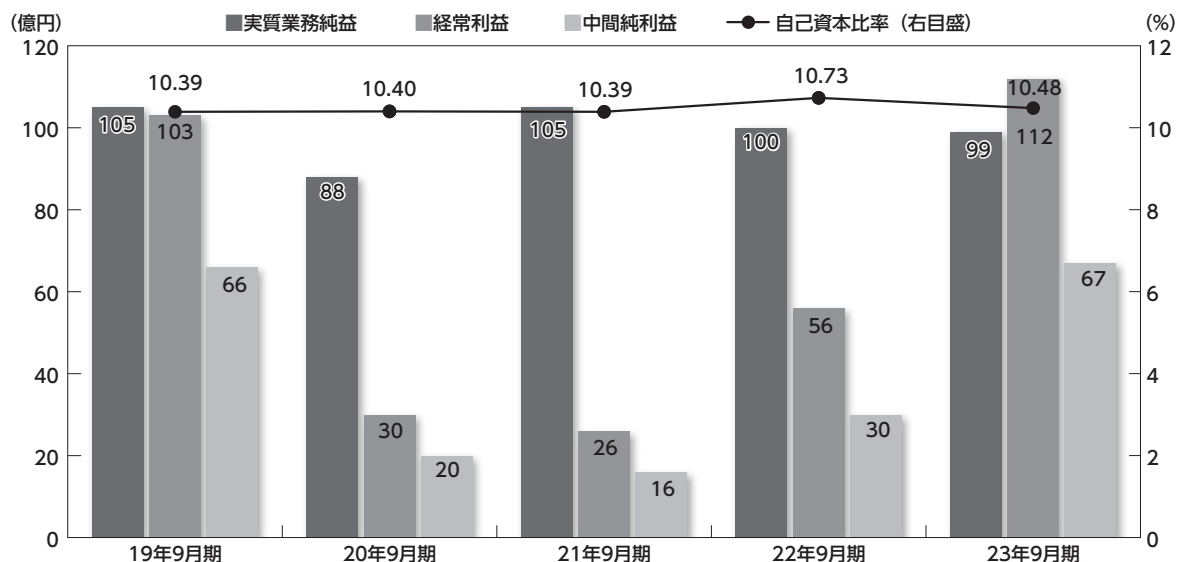
業績ハイライト（営業の概況）

単体決算

1. 損益状況等(単体)

(1) 決算の推移

主要利益及び自己資本比率の推移



(2) 損益状況等

(単位：百万円、%)

	23年9月期	22年9月期比	22年9月期
業 務 粗 利 益	27,766	△220	27,987
資金利益	25,692	△43	25,735
役務取引等利益	2,014	△197	2,212
その他業務利益	59	20	39
うち債券関係損益(5勘定戻)	△533	854	△1,388
経 費 (除く臨時処理分) (△)	17,835	△106	17,942
実質業務純益	9,931	△113	10,045
(コア業務純益)	10,464	△968	11,433
一般貸倒引当金繰入額 (△)	-	△973	973
株式関係損益(3勘定戻)	△2,461	△1,465	△996
不良債権処理費用 (△)	226	△2,240	2,467
貸倒引当金戻入益	3,135	3,135	-
償却債権取立益	463	463	-
経 常 利 益	11,235	5,614	5,620
中 間 純 利 益	6,799	3,758	3,040
自己資本比率	10.48	△0.25	10.73
Tier1比率	8.29	0.37	7.92
(参考) 与信関係費用	△3,372	△6,015	2,643

(注)「貸倒引当金戻入益」及び「償却債権取立益」は、23年6月期から「臨時収益」に計上しておりますが、22年9月期については、(従来の「特別利益」に計上したまま)遡及処理を行っておりません。

- ①実質業務純益は、役務取引等利益が減少したものの、貸出金の増強により資金利益がほぼ計画通り確保できたことや経費削減などから99億円となりました。
- ②株式関係損益は、保有株の含み損処理を進めた結果、前年同期比14億円減少しマイナス24億円となりました。
- ③与信関係費用は、貸倒引当金戻入益（31億円）の計上、不良債権処理費用の減少（△22億円）等により、前年同期比60億円の大幅な減少となりました。
- ④以上の結果、経常利益は112億円、中間純利益は67億円と、ともに前年同期比大幅増益となり、それぞれ中間期の過去最高益更新となりました。
- ⑤自己資本比率は、10.48%（前年同期比△0.25%）となりました。（Tier1比率は8.29%（前年同期比+0.37%））

2. 主要勘定等の状況(単体)

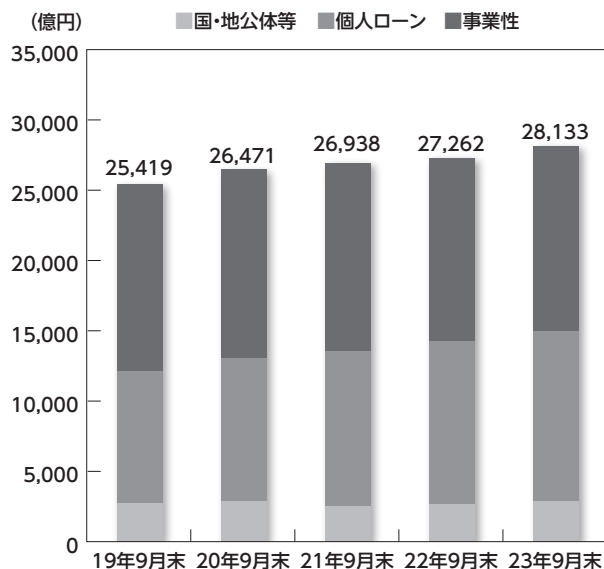
(単位：億円、%)

(期末残高)	23年9月末	前年同期比増加額	前年同期比増減率	22年9月末
貸出金	28,133	870	3.1	27,262
うち事業性貸出	13,184	176	1.4	13,008
うち個人ローン	12,051	496	4.2	11,555
預金等(譲渡性含む)	35,083	1,470	4.3	33,612
預り資産(投信等)	5,448	205	3.9	5,243
(預金等+預り資産)	40,531	1,675	4.3	38,855

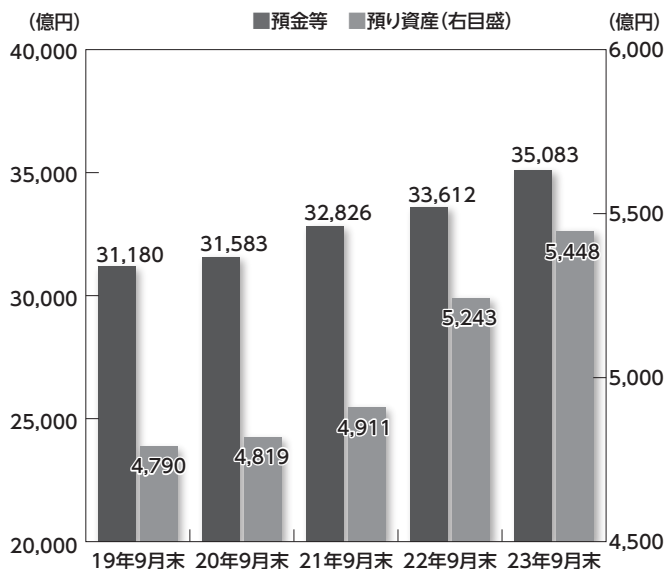
当中間期末の貸出金残高は、貸出資産の健全性を堅持する方針のもと、県内地元企業及び個人のお客さまのニーズにお応えすべく、積極的に取り組み良質な貸出金の増強に努めました結果、前年同期比870億円(年率+3.1%)増加し、2兆8,133億円となりました。

当中間期末の預金等残高は、地域に密着した営業基盤の拡充や総合取引の推進等に努めましたことから、前年同期比1,470億円(年率+4.3%)増加し、3兆5,083億円となりました。また、投資信託等の預り資産残高は、前年同期比3.9%増加し、預金等との合算では前年同期比4.3%の増加となりました。

貸出金の推移



預金等及び預り資産の推移



連結決算

(1) 連結対象会社

対象となる子会社は、7社であります。

(2) 営業成績

(単位：百万円、%)

連 結 ベ ー ス	経常収益	経常利益	中間純利益	自己資本比率
平成23年9月期	42,612	11,880	6,704	10.73
平成22年9月期	41,013	5,770	2,712	10.82
増 減	1,599	6,109	3,991	△0.09